

第48期株主通信

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

Annual Report R2011



 **青山商事株式会社**

[証券コード：8219]

TOP MESSAGE

4期ぶりの増収増益を達成



株主の皆様におかれましては、日頃より青山商事グループに対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当期の青山商事グループの業績は、中核事業であります紳士服販売事業において若年層向けスーツやレディスなどが好調に推移したことなどから4期ぶりの増収増益となりました。

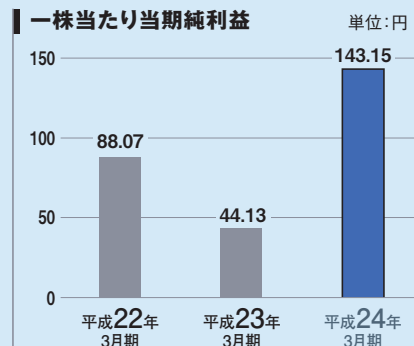
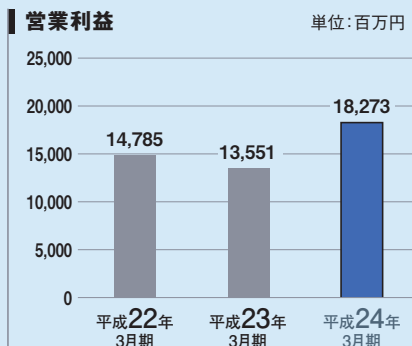
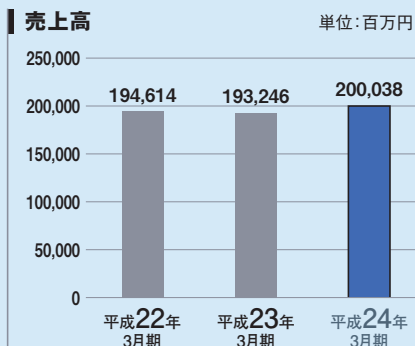
今後の当社グループを取り巻く経営環境は、個人消費の低迷や競争激化など先行き不透明な状況が続くと予想されますが、紳士服販売事業を中心に、ますます多様化するお客様のニーズに迅速かつ的確に対応し、さらなるマーケットシェアの拡大を図っていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長兼執行役員社長 **青山 理**

連結財務ハイライト

(注) 金額は単位未満を切り捨てています。



(注) 平成24年3月期表示方法の変更に伴い、平成23年3月期の実績は、遡及適用後の実績となっております。

若年層向けスーツやレディスが好調に推移

Q1

当期の業績は
どうでしたか？

当社グループの業績は、売上高は前期比103.5%の2,000億38百万円、営業利益は前期比134.8%の182億73百万円と4期ぶりの増収増益となりました。

主力のスーツ事業につきましては、引き続き一都三県を中心とした着実な出店、移転等を実施す

るなどマーケットシェア拡大を図るとともに、全国的なクールビズやウォームビズ商品需要の高まりに対応して、クールビズやウォームビズ商品の品揃えを強化いたしました。更に平成23年10月より、若年層向けに新機能スーツ「次世代[®]ストレッチスーツ」、 「次世代[®]アクティブスーツ」の展開を開始するなど新たな客層の取り込みに注力しました。レディスにつきましては、平成23年10月より、就活やフレッシュャーズのイメージキャラクターとして女優の武井咲さんを起用するなど若年層の取り込みを図るとともに、平

成24年1月よりレディスのイメージキャラクターである女優の佐々木希さんプロデュースのコラボレートブランド「n♥line by nozomi」の展開を新たに開始し、好調に推移しました。

こうしたことから、当期のスーツ事業の既存店売上高は前期比102.5%となりました。

主力であるメンズスーツの平均販売単価は前期比102.4%の24,150円、販売着数は前期比96.7%の2,439千着となりました。

店舗につきましては、当期中に「洋服の青山」において17店舗を出店（内10店舗を移転、建替）し、非効率な4店舗を閉店いたしました。

「ザ・スーツカンパニー」では1店舗を出店した結果、スーツ事業の期末店舗数は790店舗（「洋服の青山」749店舗、「TSC」38店舗、「UL」3店舗）となりました。

2期連続の増収増益を目指す

Q2

今期は
どのようなことに
取り組めますか？

当社を取り巻く経営環境は、一部に企業収益の改善が見られるものの、個人消費の低迷や競争激化など依然として先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下、中核事業でありますスーツ事業において、引き続き一都三県を中心とした

出店、移転等を実施し、マーケットシェア拡大を図るとともに、若年層の取り込みやレディスなどの売上拡大を図っていきたいと考えています。

「洋服の青山」新荻窪駅前店



当社の業態とポジション

洋服の青山

店舗数 749店舗
ターゲット年齢 20代～60代

スーツ販売着数世界No.1。紳士服販売を中心に全国展開し、幅広い世代からご支持いただいている青山商事の中核を担う業態です。



その他の業態

セカンドストリート店舗数 4店舗
ジャンブルストア店舗数 1店舗
リーバイストア店舗数 4店舗

リユース事業として「セカンドストリート」「ジャンブルストア」を、カジュアル事業として「リーバイストア」をそれぞれFC展開しています。



TREND



BUSINESS

洋服の青山

[前期比3店舗増]



BASIC

UNIVERSAL LANGUAGE
[前期比増減なし]

THE SUIT COMPANY
[前期比1店舗増]

CASUAL →

CALAJA CALAJA
CASUAL LAND JAPAN CASUAL LAND JAPAN
[前期比1店舗減]

ザ・スーツカンパニー
(TSCアウトレット上野店含む)
店舗数 38店舗
ターゲット年齢 20代～30代

都心部を中心に展開するファッショントレンドを重視したスーツショップです。



ユニバーサルランゲージ
店舗数 3店舗
ターゲット年齢 30代～40代

「世界中をあなたのクローゼットに」というメッセージをこめた、都会の大人達のためのセレクトショップです。



キャラジャ
店舗数 25店舗
ターゲット年齢 20代～40代

性別を問わず、より良いものをより安く、トレンドからベーシックまで取り揃えたカジュアルショップです。



Strategy

当社の戦略

経営戦略

新たな市場で、 新たな客層を開拓

当社は、多様化がすすむお客様のニーズに対応するため、各業態で新たな市場への出店を強化しています。

Tactics

1 イトヨーカドー内に 「洋服の青山」を相次ぎ出店

当社はこの下半期、一都三県のイトヨーカドー内に「洋服の青山」を3店舗出店しました。昨年5月の「洋服の青山」イトヨーカドー亀有駅前店の出店に続くもので、イトヨーカドー内への出店は計4店舗となりました。

一都三県の駅前に立地しているイトヨーカドー内に出店することにより、従来の郊外型店舗とは異なる新たな客層を取り込むことが可能となりました。

下半期に出店したのは、「洋服の青山」イトヨーカドーららぽーと横浜店、「洋服の青山」イトヨーカドー能見台店、「洋服の青山」イトヨーカドー津田沼店の3店舗。いずれも、当社の先端物流拠点・千葉センターから毎日商品を配送することで店内倉庫スペースを削減、加えて商品をスーツやネクタイなどのビジネスアイテムに特化し、郊外型店舗並みの品揃えを実現しました。

「洋服の青山」
イトヨーカドー
ららぽーと横浜店



「洋服の青山」
イトヨーカドー
津田沼店

Tactics

2 「リーバイスストア」を2店舗オープン

当社は、この下半期に、「リーバイスストア」を新たに2店舗出店しました。この出店により当社が展開する「リーバイスストア」は計4店舗となりました。

今回出店したのは、東京都武蔵野市のファッションビル「吉祥寺パルコ」内と大阪梅田駅前の「ヨドバシ梅田」内。店内には、「リーバイス」ブランドの男女カジュアル衣料やアクセサリーなどを多数展開しています。

「リーバイスストア」はリーバイ・ストラウスジャパン(株)のFCとして平成22年3月に出店を開始し、徐々に認知度が上がってきたことを受け、今回の新規出店に踏み切りました。今後もショッピングセンター内やファッションビル内を中心に展開していきます。



「リーバイスストア」ヨドバシ梅田店

中国市場に本格進出、 上海を中心に4店舗を出店

当社は1994年より中国に出店を開始し、店舗数拡大を図りましたが、業績不振などにより縮小し、近年はアンテナショップとして2店舗のみにて展開してきました。しかし、昨今の中国経済のめざましい発展を受け、黒字化の目処がついたことなどから、今回、出店再開に踏み切りました。

現地法人である青山洋服商業（上海）有限公司を通じ、2012年3月末までに新たに「洋服の青山」4店舗を、中国上海市等のショッピングセンター内に出店し、「洋服の青山」の在中国店舗は計6店舗となりました。

今後も中国における「洋服の青山」ブランドのイメージ確立と認知度向上を図りながら、出店を拡大していきます。



「洋服の青山」浦東金宜広場店

スーツメーカー服良(株)を 完全子会社化

当社は昨年12月に、スーツ等を生産するメーカーである服良(株)（本社：愛知県名古屋市）を完全子会社化しました。

服良(株)は高い技術力と生産管理能力が特長の企業で、中国に有力な生産拠点を保有しており、売上の約90%が当社向けです。

当社は中長期的な商品調達戦略として、中国で安定的な生産を続けつつ東南アジアへと生産拠点を拡大することにより、高品質な商品を安定的に確保することが重要と考えています。これを実現するために、服良(株)の持つ技術力や生産管理能力が必要と判断し、今回の完全子会社化に踏み切りました。

また、中国市場への進出については、服良(株)の生産及び物流拠点を活用することで一層効率的な出店が可能と見込んでいます。



上海服良現地工場



名 称	服良(株)
所 在 地	愛知県名古屋市名東区一社一丁目74番地
事業内容	メンズ及びレディススーツ等の製造
資 本 金	303百万円
設立年月日	昭和25年5月1日

Strategy

当社の戦略

営業戦略

積極的な販促施策の実施などにより 新たな客層を開拓

当社はこの下半期、テレビCMを中心とした積極的な販促を実施し、若年層を中心とした新たな客層の取り込みに努めました。

Tactics

1 テレビCMを中心に 積極的な販促を実施

当社はこの下半期、新商品や営業施策と連動した販促を積極的に展開しました。

女優の武井咲さんを起用した就活生やフレッシュャーズ向けのテレビCM、溝端淳平さんを起用した新機能スーツ「次世代[®]スーツ」、女優の佐々木希さんを起用した新ブランド「n♥line by nozomi」など、若年層を中心とした新たな客層の取り込みに注力しました。

今後も新商品や営業施策と連動を図りながら、積極的な販促活動を実施するとともに、若年層を中心とした新たな客層の取り込みを図っていきます。



当社イメージキャラクターの武井咲さん

Tactics

2 「洋服の青山オンラインストア」をリニューアル

当社は平成24年2月、独自に展開しているEコマースサイト「洋服の青山オンラインストア」をリニューアルしました。商品数を約2,700アイテムに倍増して検索機能も充実させたほか、ユーザーのお好みに応じて商品を自動的に推薦する「レコメンド機能」を搭載、より見やすく選びやすいサイトになっています。

更に、実店舗とネットとのシナジーを高めるため、実店舗で好評なセットセールを開始するとともに、サイトでのお買い上げに応じて付与してきた「Webポイント」を、実店舗の「青山ポイント」と一元化しました。また、ネットで予約し、店舗で試着ができる「試着予約」機能についても、商品掲載ページ全てに申し込みボタンを設置して使い勝手を良くしました。

今後も新たな客層の取り込みを図るため、実店舗とのシナジーを高めながら、ネット通販の拡大を図っていきます。



リニューアルした
「洋服の青山オンラインストア」

Strategy

当社の戦略

商品戦略

若年層向けの新商品を展開

当社はこの下半期、若年層をターゲットとした新ブランドの立ち上げや新商品の投入を相次いで実施しました。

Tactics 1 若年層向けに「次世代[®]スーツ」を展開

当社は、平成23年10月より高レベルのストレッチ機能を装備した若年層向けスーツを「次世代[®]スーツ」として展開しました。

若年層向けのスーツは、細身で短い上着丈に、股上が浅めのパンツというシャープなシルエットがトレンドであり、窮屈に感じない着用感を両立するためには、ストレッチ機能が大きな役割を果たします。

そこで当社は生地伸縮率に標準的なストレッチ生地の約2倍の10～15%という独自の基準を設けるなど高いレベルのストレッチ性を実現しました。

そして、この「次世代[®]スーツ」を全国の「洋服の青山」で展開し、好評を博しました。



「次世代[®]スーツ」
イメージキャラクターの溝端淳平さん

Tactics 2 佐々木希さんプロデュースの新ブランドを展開

当社は、平成24年1月より就活生やフレッシュワーカーの女性に向け、当社イメージキャラクターで女優の佐々木希さんがプロデュースする新コラボレートブランド「n♥line by nozomi」を立ち上げ、全国の「洋服の青山」で取り扱いを開始しました。

「佐々木希さんのような“ライン”が手に入るスーツ」をコンセプトに、細部の仕様や見えない部分にも佐々木さんのセンスとこだわりを活かし、完成度の高い商品に仕上げました。

商品バリエーションは、セットアップスーツ、コート、ブラウス、パンプス、バッグの5種類。女性らしさと華やかさが映える「スイート派」と、知的なカッコ良さが光る「クール派」の2ラインを揃えています。

今後も、様々なターゲットに向けた品揃え強化を図るとともに、話題性のある商品を開発し、さらなるレディス売上拡大を図っていきます。



「n♥line by nozomi」の
スーツを着た佐々木希さん

トピックス

TOPICS

TOPICS 01

「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」の店舗展開を開始

当社子会社の㈱イーグルリテイリングは、今年4月アメリカの人気カジュアルブランド「American Eagle Outfitters（アメリカンイーグルアウトフィッターズ）」の1号店と2号店を、東京・表参道とお台場に相次ぎ出店しました。

出店場所は、表参道が「東急プラザ 表参道原宿」、お台場が「ダイバーシティ東京プラザ」と、ともに今春オープンの話の最新商業施設内で、女性向けブランド「Aerie（エアリー）」も、表参道、お台場ともに同時オープンしています。

「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」は、1977年にアメリカペンシルバニア州ピッツバーグで誕生し、現在アメリカ、カナダ、中国など全世界に店舗を展開するインターナショナルブランド。15～25歳の男女をターゲットに、トレンド性の高いカジュアルウェアやアクセサリーなどを提供しています。2010年に㈱イーグルリテイリングがAmerican Eagle Outfitters社からフランチャイズ展開の権利を獲得、出店に向けた準備を進めてきました。この夏には、ららぽーとTOKYO-BAY店、更に冬には、池袋店もオープンする予定です。



「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」表参道店



「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」ダイバーシティ東京プラザ店

TOPICS 02

クールビズの品揃え強化

当社は、昨年好評であったクールビズ商品について、今年さらなる売上拡大を図るため、クールビズ商品の増量や機能商品の開発など昨年を超える品揃えを実現しました。

主力となるドレスシャツは抜群の通気量を誇る「メガクール」や究極の形態安定性能を持つ「ノンアイロンマックスクール」など昨年の2倍となる過去最大の180万枚を展開しています。更に清涼仕様の接触冷感ネクタイやベルト、シューズ、肌着そして日清紡テキスタイル㈱との共同企画で製品化した世界最高レベルの形態安定性能を持つ綿100%スラックス「ノンアイロンマックス」など多数取り揃え、「洋服の青山」全店及び「洋服の青山オンラインストア」にて展開しています。



昨年を超える品揃えを実現したクールビズ売り場（「洋服の青山」福山本店）

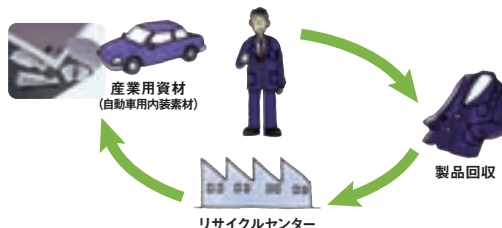


「Team AOYAMA Eco Project」 皆さまとともに環境保護を

当社は全社を挙げて、環境保護活動「Team AOYAMA Eco Project」を推進しており、産地やメーカー、スタッフ、店舗、そしてお客さまとひとつになって、次のような活動に取り組んでいます。

ウールリサイクル活動を推進

当社は、ウールマークコラボラティブ（パートナー）ライセンスを取得しており、業界全体でウールマーク製品を様々な形でリサイクルし、再び有効に活用するシステムづくりに取り組んでいます。回収された中古ウール製品は、リサイクルセンターを経て主に自動車用内装素材などの産業用資材として再生（マテリアルリサイクル）され、再利用されています。



カーボンオフセット付きスーツを販売

当社は、AWI（オーストラリアン・ウール・イノベーション：本社シドニー）が提唱する「ZERO CO₂ PROGRAM（ゼロ・シーオーツー・プログラム）」に協賛。「Balanced ZERO CO₂ WOOL」の下げ札を付けたスーツを全国の「洋服の青山」で販売しています。

「ZERO CO₂ PROGRAM」とは、スーツを生産する際に発生するCO₂を、植樹により相殺しようという活動です。植樹活動を手掛ける指定牧場から原毛を仕入れ、スーツとして販売することで、地球温暖化防止に貢献します。



「環境の青山の取り組み」～バランスゼロCO₂～

「Zero CO₂」とは、ウールスーツ製造工程において発生するCO₂の排出量を、植樹活動を通じてプラスマイナスゼロとする持続可能なプログラムです。

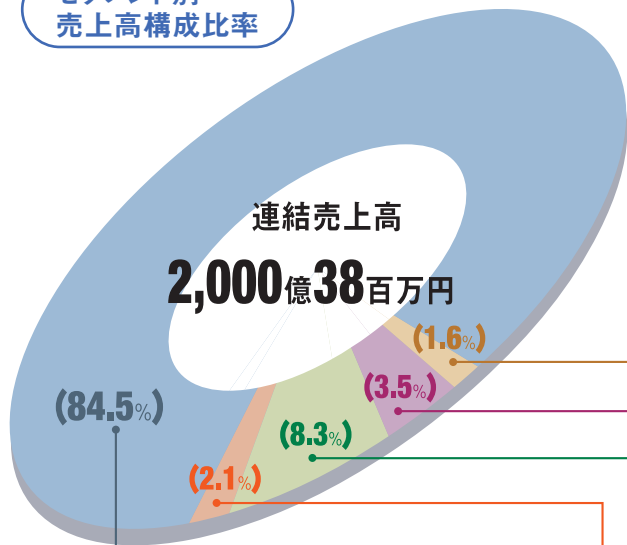
この製品はオーストラリア産のCO₂認定牧場のメリノウールを使用しています。
 CO₂排出量はオーストラリア国内産及び日本経済産業省の発表数値に基づいて算出しています。
 この下げ札は全品70%の再生紙を使用しています。

電力不足の解消に積極対応

当社は現在、東京電力と東北電力管内の「洋服の青山」を皮切りに、全国の「洋服の青山」で、省エネ効果に優れた新たな空調設備の導入を進めています。既存設備に比べ、年間消費電力と二酸化炭素排出量を大幅に削減できる見通しです。このほか、47都道府県全てに出店している全国展開企業として「節電」を全国的に取り組む問題と捉え、今後も積極的に店内照明の間引きや空調の温度設定など節電対策を実施していきたいと考えています。



セグメント別
売上高構成比率



(注) 各セグメント別の売上高構成比率は、グループ間取引を相殺消去後のセグメント別売上高にて算出しております。

紳士服販売事業 青山商事(株)スーツ事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)

- 当事業には、青山商事(株)のスーツ事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商が属するほか、当期より服良(株)が加わりました。
- 青山商事(株)のスーツ事業では、一都三県を中心とした着実な出店、移転等を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、クールビズやウォームビズ商品の品揃えを強化しました。
- 若年層をターゲットにした新機能スーツ「次世代®ストレッチスーツ」、「次世代®アクティブスーツ」の展開を開始するなど、新たな客層の取り込みに注力しました。
- レディースでは、イメージキャラクターとして女優の武井咲さんを新たに起用。佐々木希さんプロデュースのコラボレートブランド「n♥line by nozomi」の展開を開始し、好調に推移しました。
- 以上の結果、紳士服販売事業の売上高は前期比103.8%の1,691億5百万円、セグメント利益(営業利益)は前期比130.3%の167億91百万円となりました。



カード事業

(株)青山キャピタル

- 平成24年2月末現在で、「AOYAMAカード」の有効会員数は366万人、営業貸付金残高は380億円となりました。
- 改正貸金業法等の影響などにより、売上高は前期比82.9%の33億62百万円となる一方、効率的な経費の使用に努めたことなどから、セグメント利益（営業利益）は前期比361.5%の1億14百万円となりました。



商業印刷事業

(株)アスコン

- 重点施策として、既存取引先への深耕、新規開拓の強化、新規事業の展開に取り組みました。
- 既存取引先の受注増などにより、売上高は前期比105.9%の112億53百万円、セグメント利益（営業利益）は2億56百万円（前期はセグメント利益（営業利益）9百万円）となりました。



雑貨販売事業

(株)青五

- 「洋服の青山」、「キャラジャ」の閉鎖店舗利用やシナジー効果を狙った「洋服の青山」との併設などにより、100円ショップ「ダイソー&アオヤマ100YEN PLAZA」を展開しています。
- 当期中に5店舗を出店し、非効率な2店舗を閉店したため、平成24年2月末の店舗数は132店舗となりました。
- 他業態からの参入など業界の競争が一層苛烈さを増す中、消費者の節約志向の高まりなどから売上高は前期比100.8%の165億25百万円、セグメント利益（営業利益）は前期比146.9%の5億65百万円となりました。



その他

青山商事(株)カジュアル・リユース事業、(株)イーグルリテイリング、(株)glob

- 主力である青山商事(株)のカジュアル・リユース事業は、既存店売上高が前期比104.9%となりました。また、店舗につきましては、「リーバイスストア」を2店舗出店し、「キャラジャ」を1店舗閉店した結果、平成24年3月末の店舗数は34店舗（「キャラジャ」25店舗、「セカンドストリート」4店舗、「ジャンブルストア」1店舗、「リーバイスストア」4店舗）となりました。
- (株)globでは、「洋服の青山」の店舗敷地内余剰地の有効活用として、「焼肉きんぐ」を合計7店舗出店しました。
- これらの結果、その他の事業全体では、売上高は前期比121.3%の42億47百万円、セグメント損失（営業損失）は1億40百万円（前期はセグメント損失（営業損失）2億92百万円）となりました。



連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

流動資産

流動資産は1,707億67百万円(前連結会計年度末比28億16百万円減)となりました。主な要因は、現金及び預金が8億12百万円、受取手形及び売掛金が31億11百万円、商品及び製品が44億69百万円それぞれ増加する一方、有価証券が86億92百万円、営業貸付金が29億47百万円減少したことによるものです。

流動負債

流動負債は603億70百万円(前連結会計年度末比55億41百万円減)となりました。未払法人税等が27億63百万円増加する一方、短期借入金が37億40百万円、1年内償還予定の社債が20億円、為替予約が32億48百万円それぞれ減少したことによるものです。

科目	第48期 (平成24年3月期)	第47期 (平成23年3月期)
<資産の部>		
流動資産	170,767	173,584
現金及び預金	37,318	36,505
受取手形及び売掛金	14,846	11,734
有価証券	33,158	41,851
商品及び製品	41,546	37,076
仕掛品	988	47
原材料及び貯蔵品	799	497
繰延税金資産	2,143	1,576
営業貸付金	38,000	40,947
その他	2,262	3,707
貸倒引当金	△297	△360
固定資産	166,481	162,398
有形固定資産	90,676	91,332
建物及び構築物	53,156	55,430
土地	30,758	28,375
その他	6,761	7,526
無形固定資産	2,743	2,494
投資その他の資産	73,061	68,571
投資有価証券	21,566	13,983
敷金及び保証金	27,691	28,454
その他	23,960	26,155
貸倒引当金	△157	△21
繰延資産	34	54
資産合計	337,283	336,037
<負債の部>		
流動負債	60,370	65,911
支払手形及び買掛金	19,171	16,542
短期借入金	4,100	7,840
1年内償還予定の社債		2,000
未払法人税等	7,161	4,397
賞与引当金	1,212	1,157
その他	28,725	33,973
固定負債	43,394	43,015
社債	22,000	22,000
長期借入金	11,000	11,000
退職給付引当金	3,631	3,514
ポイント引当金	2,786	2,708
その他	3,976	3,792
負債合計	103,764	108,926
<純資産の部>		
株主資本	248,330	242,312
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,942	62,975
利益剰余金	135,132	129,080
自己株式	△12,249	△12,249
その他の包括利益累計額	△17,023	△17,440
その他有価証券評価差額金	△79	18
繰延ヘッジ損益	10	—
土地再評価差額金	△16,953	△17,459
新株予約権	421	412
少数株主持分	1,789	1,826
純資産合計	233,518	227,110
負債純資産合計	337,283	336,037

(注) 1.金額は単位未満を切り捨てています。
2.第48期(平成24年3月期)表示方法の変更に伴い、第47期(平成23年3月期)の実績は、遡及適用後の実績となっております。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成24年3月期)	第47期 (平成23年3月期)
売上高	200,038	193,246
売上原価	88,180	86,838
売上総利益	111,858	106,407
販売費及び一般管理費	93,584	92,856
営業利益	18,273	13,551
営業外収益	5,487	2,176
受取利息及び受取配当金	817	691
デリバティブ評価益	3,233	—
不動産賃貸料	998	1,065
その他	437	419
営業外費用	4,534	5,213
支払利息	192	210
デリバティブ評価損	—	1,603
不動産賃貸原価	714	764
為替差損	3,179	2,524
その他	448	109
経常利益	19,226	10,515
特別利益	106	370
固定資産売却益	106	12
貸倒引当金戻入額	—	358
特別損失	2,858	4,343
災害による損失	—	213
固定資産除売却損	496	329
減損損失	2,362	2,437
投資有価証券評価損	—	869
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	493
税金等調整前当期純利益	16,474	6,542
法人税、住民税及び事業税	7,435	4,597
法人税等調整額	△194	△928
少数株主損益調整前当期純利益	9,233	2,873
少数株主利益	135	67
当期純利益	9,097	2,805

(注) 1.金額は単位未満を切り捨てています。

2.第48期(平成24年3月期)表示方法の変更に伴い、第47期(平成23年3月期)の実績は、遡及適用後の実績となっております。

経常利益

経常利益は、前期比182.8%の192億26百万円となりました。営業外費用に為替差損31億79百万円を計上する一方、営業外収益に「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価益32億33百万円を計上したことなどによるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、211億60百万円(前連結会計年度は344億76百万円の獲得)となりました。税金等調整前当期純利益164億74百万円、減価償却費78億99百万円、減損損失23億62百万円などの資金増加に対し、デリバティブ評価益32億33百万円、運転資本(売上債権、たな卸資産、仕入債務及び未払金)の増減による資金の支出が43億4百万円増加したことが主な要因です。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成24年3月期)	第47期 (平成23年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,160	34,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,885	△22,927
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,671	△8,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△188	△884
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,414	2,191
現金及び現金同等物の期首残高	27,327	25,135
現金及び現金同等物の期末残高	29,741	27,327

(注) 金額は単位未満を切り捨てています。

連結株主資本等変動計算書

第48期(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	62,504	62,975	129,080	△12,249	242,312	18	—	△17,459	△17,440	412	1,826	227,110
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△2,543		△2,543							△2,543
当期純利益			9,097		9,097							9,097
土地再評価差額金の取崩			△502		△502							△502
自己株式の取得				△491	△491							△491
自己株式の処分		△33		491	458							458
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△98	10	505	417	8	△36	389
連結会計年度中の変動額合計	—	△33	6,052	△0	6,018	△98	10	505	417	8	△36	6,407
当期末残高	62,504	62,942	135,132	△12,249	248,330	△79	10	△16,953	△17,023	421	1,789	233,518

(注) 金額は単位未満を切り捨てています。

20円の期末配当を実施

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と捉え、一層の利益還元を図るべく、配当性向30%を目処とした一部業績連動の配当を実施しております。

この配当性向は、デリバティブ評価損益など特殊・特別な損益を損益計算から除外し計算した当社単独の当期純利益に対するもので、具体的には、1株につき普通配当40円(中間配当20円、期末配当20円)を安定的に配当し、配当性向30%を目処に計算した配当が40円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当させていただきます。

この配当方針に従い、第48回定時株主総会にてご承認いただきました当期の期末配当につきましては、普通配当として1株につき20円とさせていただきます。なお、中間配当として1株につき20円お支払いしておりますので、年間配当は、1株につき40円となります。

自己株式の取得を決議

当社は、平成24年5月11日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議いたしました。

1.自己株式取得の理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため

2.取得内容

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 200万株(上限)《発行済株式総数に対する割合 2.97%》
- (3) 株式の取得価額の総額 50億円(上限)
- (4) 取得する期間 平成24年5月15日～平成24年8月31日
- (5) 取得方法 大阪証券取引所における市場買付

個別財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成24年3月期)	第47期 (平成23年3月期)
〈資産の部〉		
流動資産	125,674	129,667
固定資産	166,840	162,608
有形固定資産	84,357	85,224
無形固定資産	2,346	2,187
投資その他の資産	80,135	75,196
資産合計	292,514	292,276
〈負債の部〉		
流動負債	50,010	56,688
固定負債	18,612	18,293
負債合計	68,622	74,982
〈純資産の部〉		
株主資本	240,301	234,132
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	127,070	120,900
自己株式	△12,249	△12,249
評価・換算差額等	△16,831	△17,251
その他有価証券評価差額金	△80	18
土地再評価差額金	△16,751	△17,269
新株予約権	421	412
純資産合計	223,891	217,293
負債純資産合計	292,514	292,276

(注) 1.金額は単位未満を切り捨てています。
2.第48期(平成24年3月期)表示方法の変更に伴い、第47期(平成23年3月期)の実績は、遡及適用後の実績となっております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成24年3月期)	第47期 (平成23年3月期)
売上高	171,726	162,300
売上原価	69,935	67,247
売上総利益	101,790	95,053
販売費及び一般管理費	85,074	82,330
営業利益	16,715	12,722
営業外収益	6,212	2,659
営業外費用	4,524	5,206
経常利益	18,404	10,176
特別利益	106	12
特別損失	2,794	4,380
税引前当期純利益	15,717	5,807
法人税等	6,502	3,062
当期純利益	9,214	2,745

(注) 1.金額は単位未満を切り捨てています。
2.第48期(平成24年3月期)表示方法の変更に伴い、第47期(平成23年3月期)の実績は、遡及適用後の実績となっております。

会社概要

(平成24年3月31日現在)

社名：青山商事株式会社
 設立：昭和39年5月6日
 資本金：625億471万円
 従業員数：3,602名
 事業所：本社：
 広島県福山市王子町一丁目3番5号
 東京本部：
 東京都台東区上野四丁目5番10号
 TSC TOWER 7階
 TSC営業部：
 東京都渋谷区宇田川町21番8号
 渋谷平和ビル 6階
 神辺商品センター：
 広島県福山市神辺町大字西中条字深水
 1727番地の1
 井原商品センター：
 岡山県井原市大江町1345番地の2
 田川商品センター：
 福岡県田川市大字伊田2423番地の4
 千葉センター：
 千葉県千葉市美浜区新港32番地22号
 営業店舗数：824店

役員 の 状 況

(平成24年6月28日現在)

【 取 締 役 】

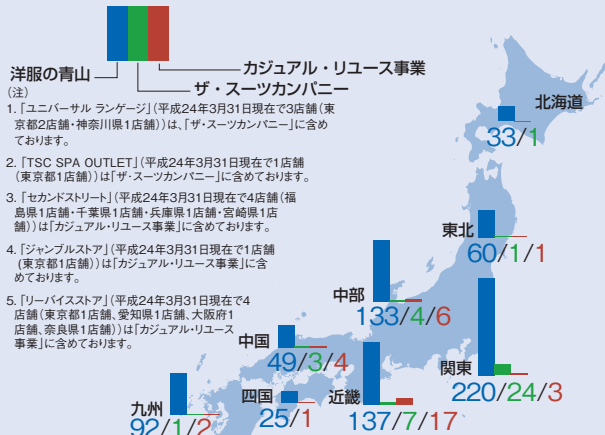
代表取締役会長：宮前省三
 代表取締役副会長：宮前洋昭
 代表取締役社長兼執行役員社長：青山 理
 専務取締役兼専務執行役員：宮武真人 (企画管理本部長兼カジュアル・リユース事業本部長)
 取締役兼執行役員：松川修之 (営業本部長)
 取締役兼執行役員：岡野真二 (商品本部長)

【 監 査 役 】

常任監査役(常勤)：遠藤幸辰
 監査役：内林誠之※
 監査役：大木 洋※
 監査役：竹川 清※
 (注) ※は社外監査役であります。

【 執 行 役 員 】

専務執行役員：宮川道信 (開発本部長)
 常務執行役員：金生嘉夫 (東京本部長兼広報室長)
 執行役員：長谷川清秀 (IT・システム部長)
 執行役員：平川省三 (総務部長)
 執行役員：藤井康博 (営業部長)
 執行役員：谷川栄治 (業務管理部長兼情報セキュリティ担当)
 執行役員：藤井満典 (販促部長)
 執行役員：水谷 修 (TSC事業本部長兼TSC商品部長)
 執行役員：前川義之 (第一商品部長)



株式の状況

(平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数	174,641,100株
株主総数	8,030名
発行済株式数	67,394,016株
自己株式数	3,813,804株 (5.66%)

大株主

(平成24年3月31日現在)

株主名	所有株数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,658	8.90
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,974	7.82
(有)青山物産	3,541	5.57
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	2,569	4.04
青山理	2,012	3.16
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	1,445	2.27
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,367	2.15
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,338	2.10
青山澄子	1,261	1.98
星野商事(有)	1,001	1.57

(注) 1.所有株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.議決権比率は、当期末日における発行済株式数(自己株式除く)に対する割合であります。
3.当社は自己株式3,813千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記の大株主から除外しております。

株主優待割引券のご案内

毎年3月31日及び9月30日現在の当社の株主の皆様へ「株主優待割引券(15%割引券)」をご送付申し上げております。

株主優待割引券の発行基準

毎年3月31日及び9月30日現在の株主名簿に記載された株主各位に対し、そのご所有株式数に応じ、次のとおり株主優待割引券を発行いたします。



所有株式数

100株以上1,000株未満	3枚
1,000株以上3,000株未満	4枚
3,000株以上	5枚

有効期限

対象株主の確定日	郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主	同年 7月上旬	翌年 6月末日
9月末日現在の株主	同年12月上旬	翌年12月末日

取扱い店舗

「洋服の青山」「ザ・スーツカンパニー(TSC SPA OUTLET上野店は除く)」「ユニバーサル ランゲージ」「キャラジャ」にてご利用いただけます。

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：毎年6月開催
 基準日：定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数：100株

公告方法：当社ホームページに掲載いたします。ただし、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.aoyama-syouji.co.jp>

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所：大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)：〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)：☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)：http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座に関する手続きについて

平成21年1月5日より、当社をはじめすべての上場会社の株券は、一斉に電子化されております。これに伴い、従来の株券は無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社を通じて証券保管振替機構(「ほふり」)で管理されております。また、株券電子化のお手続きがお済みでなかった株主様の権利は現在、三井住友信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)の特別口座にて管理されており、お手持の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

詳しいお手続きに関しましては、左記の電話照会先をお願いいたします。

上場証券取引所：株式会社東京証券取引所(市場第一部)
 株式会社大阪証券取引所(市場第一部)

クールビズキャンペーンをオンラインストアで開催

当社が運営する「洋服の青山オンラインストア」では、クールビズ特集「COOL BIZ 2012」を開催中です。「軽量」「通気性」「洗濯品質」をコンセプトに、紳士服・メンズスーツから、ポロシャツ・ドレスシャツ・ジャケット・スラックス・フォーマル・礼服・レディススーツに至るまで、幅広い新作夏物を取り揃えました。



<http://www.y-aoyama.jp/campaign/coolbiz2012/index.html>

COOL BIZをもっとクールに!

① 軽量

涼しくカッコリ!
誠実感アップ

ネイビーが全体を引き締めて、スマートにキマる!

② 通気性

爽快!
スマートシルエット

涼しくゆったり着れて、スマートな印象を

③ 洗濯品質

洗えるスーツで
清潔感アップ!

洗えるスーツで、いつも清潔感ある爽やかスタイル

おトクな割引クーポンを持って青山へ!

Webサイトに掲載の様々なクーポンを印刷して店舗までお持ちいただければ、割引価格でご購入いただけます。



<http://store.y-aoyama.jp/>